

Q どんなことをするの？

基本目標3 誰もが快適で暮らしやすいまち

産業を支え、働く人や暮らす人を支えるとともに、多彩な交流を進めるためには、まちの動脈となる幹線道路の整備や公共交通の確保、基盤となる施設の整備が不可欠です。

このため、中部縦貫自動車道や国道158号をはじめとする幹線道路の早期の整備促進、より良い生活環境づくりのための上下水道整備、快適な道路空間造り、情報通信基盤の整備など、必要な社会資本整備を進めます。

また、中部縦貫自動車道の開通を見据え、「越前おおのまるごと道の駅」の実現に取り組みます。

さらに、高齢者や学生など交通弱者にとって必要不可欠な公共交通の確保に努めるとともに、共助による除雪の体制づくりを進めるなど、訪れる人にも暮らす人にも快適なまちづくりを目指します。

基本施策13 中部縦貫自動車道の整備促進

施策① 中部縦貫自動車道の整備促進 施策② 越前おおのまるごと道の駅構想の推進

基本施策14 幹線道路網の整備促進

施策① 国道158号の整備促進 施策② 国道157号大野バイパスの早期整備促進
施策③ 国道476号や主要地方道などの整備促進

基本施策15 人にやさしい道路環境の創出

施策① 生活道路の管理と整備 施策② 橋の長寿命化 施策③ 誰にもやさしい道路整備 施策④ 自転車走行空間の整備

基本施策16 快適な生活関連の基盤整備

施策① 水道の整備 施策② 下水道の整備 施策③ 小公園や防災機能を持つ公園などの整備

基本施策17 快適な住宅の整備

施策① 高齢化に対応する住宅の整備促進 施策② 中心市街地の居住促進 施策③ 公的住宅の施設改善

基本施策18 高度情報化の推進

施策① 情報通信基盤の整備

基本施策19 公共交通手段の確保

施策① バス運行の充実 施策② JR越美北線の利用促進

基本施策20 雪に強いまちづくり

施策① 雪に強い道路づくり 施策② 雪に強いまちづくりの推進

成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
中部縦貫自動車道大野油坂道路の速やかな事業化	未事業化区間の1日も早い事業化	計画区間	事業化	
越前おおのまるごと道の駅構想の策定	越前おおのまるごと道の駅構想の策定	未策定	策定	
国道158号境寺・計石バイパスの事業化	境寺・計石バイパス約5.0km間の事業着手	未着手	事業化	
西部アクセス道路の整備	西部アクセス道路の事業着手	未着手	事業化	
市道の改良率	市道の実延長に対する改良済みの延長の割合	81.4	82.0	%
橋梁補修数	長寿命化のための補修を実施した橋の数	0	5	橋
歩道のバリアフリー率	歩道の総延長に対するバリアフリー工事を実施した延長の割合	31	36	%
上水道の普及率	上水道対象区域の人口に対する上水道加入人口	19	21	%
公共下水道整備率	公共下水道の全体計画区域面積に対する整備済みの面積	41.8 (21年度)	68.5	%
合併処理浄化槽設置数	補助金を交付した合併処理浄化槽の各年度までの累積設置数	1,364 (21年度)	1,604	基
一人当たり公園面積	都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積	12.9	13.8	m ² /人
高齢者等賃貸住宅家賃助成件数	高齢者などに対する賃貸住宅家賃助成件数	34	51	件
超高速ブロードバンド整備地区	超高速ブロードバンド整備地区	大野、下庄、乾側、小山、富田の5地区	大野、下庄、乾側、小山、富田、上庄、阪谷、和泉の8地区	地区数
大野市内バス乗客数	大野市内バスの年間乗客数	32,062 (21年度)	44,000	人
広域バス乗客数	広域バスの年間乗客数	334,847 (21年10月～22年9月)	355,000	人
越美北線の乗客数	越美北線の年間乗客数	338,000 (21年度)	347,000	人
流雪溝の整備	整備延長	86,441	87,500	m
降雪期前の雪下ろし作業者登録者数	降雪期前の雪下ろし作業者登録者数	79	120	人